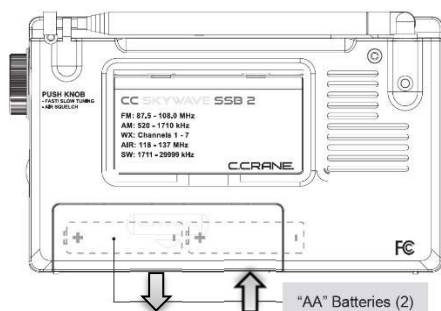


CC SKYWAVE SSB2 シンプルガイド

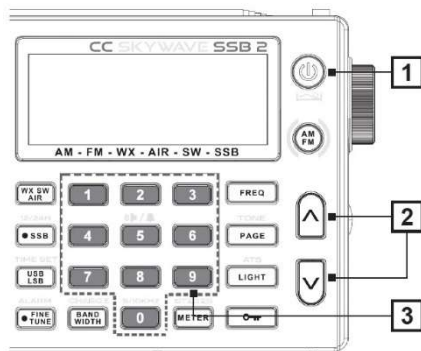
ApexRadio,Inc.

■ 電池の入れ方



背面のバッテリーカバーは下側に押し下げると外れます。単3形アルカリ乾電池2本を＋に注意して入れて、バッテリーカバーを装着します。長期間使わないときは電池を外しておきましょう。

■ 電源とスリープタイマー ①



電源をオン・オフするには電源ボタン①を短く押します。スリープタイマーは、電源オフの状態ですべて電源ボタン①を長押しすることで起動します。長押し続けるとタイマー時間(120, 90, 60, 45, 30, 15, OFF)が順に表示されます。設定したいタイマー時間の時に①ボタンをはなすとスリープタイマーが設定されて電源オンになります。設定した時間が経過すると電源オフとなります。

■ UP / DOWN チューニングボタン ②

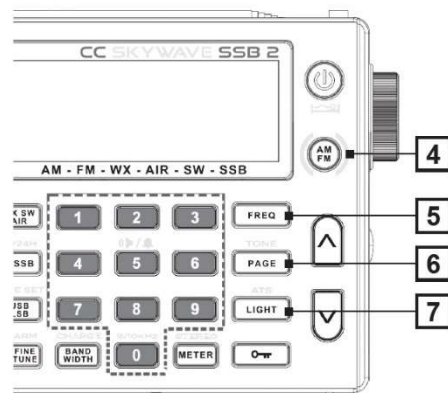
チューニングボタンを短く押すと周波数が1ステップ変わります。上向きボタンなら周波数が高

く、下向きボタンなら低くなります。チューニングボタンを長押し(2秒程度)するとサーチが開始され信号を検知するとサーチが停止して受信をします。さらにチューニングボタンを押し続けている間は選択されている受信バンド内でループするように受信周波数を続けて変更できます。

■メモリープリセットボタン ③

[1] ~ [0] のメモリープリセットボタンを使ってバンド内の受信している周波数を割り当てられたメモリーに書き込むことができます。受信中に書き込みたいメモリープリセットボタンを長押しするとボタンに割り当てられたメモリーに書き込まれます。メモリープリセットボタンを短押しすることで、書き込まれたメモリーを呼び出して受信します。

■ AM FM ボタン ④



AM FM ボタンを短押しすることで、AM 放送、FM 放送の受信バンドを交互に切替えられます。SW や AIR の受信バンドから AM FM に戻るときにも、このボタンを使います。AM FM ボタンを長押しすると NOAA (米国海洋大気庁) ウェザーアラート受信機能が起動しますが、電池の消耗を防ぐ意味から NOAA ウェザーアラートの対応地域外ではオフにしておくことをお勧めします。

■ FREQ ボタン ⑤

選択している受信バンドで、希望する受信周波数を数値ボタンで直接入力できます。例えば、810kHz を入力するには、[FREQ]、[8]、[1]、[0] と入力します。なお、SW バンドのうち、1711kHz~2999kHz(2.999MHz)までの間は、数値の後に再度[FREQ]を押して入力確定をします。

■ PAGE TONE ボタン ⑥

AM / FM / SW / AIR のそれぞれの受信バンドに10 ページずつ(1~0) 設けられたメモリーページに切替えるためには、このボタンを短押しした後、希望するページ番号を数値ボタンで指定します。

受信中にこのボタン⑥を長押しすることで、受信音のトーン切替え(MUSIC / VOICE)を行うことができます。音楽を楽しむには MUSIC、アナウンスなどには VOICE などと設定ができます。

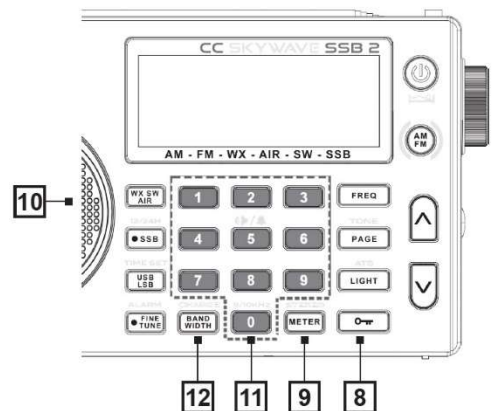
■ LIGHT ATS ボタン ⑦

LIGHT を短押しすると、LCD 表示部分のバックライトが約20秒間点灯します。点灯中に再度短押しすることで強制消灯することができます。なお、ボタン操作やダイヤル操作があるとバックライトは約10秒間点灯します。

ATS (Automatic Tuning System) 機能

AM, FM, SW, AIR の各受信バンドで独立して動作する機能です。希望するバンド内で⑦を長押しすると自動的にスキッピングを行い、受信可能となった周波数を自動的にメモリーに昇順に登録します。メモリーは1ページ10チャンネルまでです。バンド内に10以上の受信可能となる周波数がある場合にはページを切替えてさらに登録を続けます。※バンド内のノイズでスキャン停止する場合も受信可能と判断することがあります。

■ LOCK(ロック)ボタン ⑧



このボタンを2秒間長押しすることで、他のボタンやダイヤル操作を無効にするロック機能が有効

となり、LCDにキー(鍵)マークが表示されます。ロック機能を解除するには再度このボタンを2秒間長押しします。このボタンを短押しすると約10秒間、受信周波数に替わって時計表示がされます。

■ METER STEREO ボタン ⑨

SW 受信のとき、このボタンを押すとメーター表示で放送周波数帯を順次切替えができます。また、SW 受信で SSB 受信機能がオンになっているときにこのボタンを押すと、メーター表示でのアマチュア無線周波数帯を順次切替えができるようになります。

FM 受信のときに、このボタンを押すとステレオ受信対応とモノラル受信が切り替わります。ステレオ信号が受信されているときには、STEREO アイコンが LCD 表示されます。

■ 内蔵スピーカー ⑩

スピーカーユニットがマウントされています。ヘッドホンジャックにヘッドホンなどが接続されたときは、内蔵スピーカーはオフとなります。

■ 9 / 10kHz モード切替ボタン ⑪

AM 受信の9kHzモード、10kHzモードの交互切替えができます。切替えるには、電源オフの状態ですべて、[0] ボタンを2秒間長押しします。切替わると、LCDに9(または10)が表示されます。

9kHzモードになるとFM受信バンドの受信周波数範囲が76~108MHzに拡張されます。**日本国内で使うには、9kHzモードを選択することをお勧めします。**

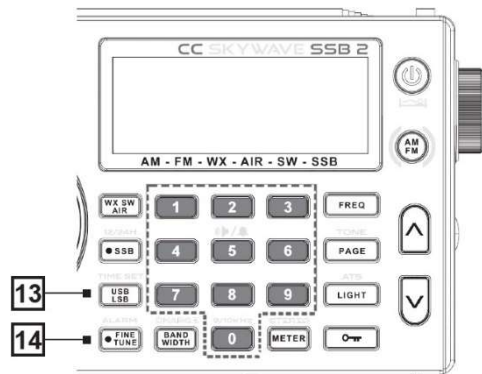
■ BAND WIDTH ボタン ⑫

AM, SW, AIR のフィルター通過幅の切替えボタンです。受信信号の近傍にあるノイズや目的外信号を通過帯域から外すことでより良い受信結果を得られることがあります。このボタンを短押しすることで、通過帯域幅は5種(6, 4, 3, 2, 1kHz)、SSB 受信の時は6種(4, 3, 2.2, 1.2, 1, 0.5kHz)から順次選択ができ、選択した通過帯域幅はLCDに一時的に表示されます。

受信信号が十分に強いとき(特に音楽など)には6kHzがベストであることが多く、信号が弱い場合

や目的外信号が近傍にある場合には状況に応じて良好な受信状況になるように狭い通過帯域を選択することが可能です。SSB受信のときには通常3kHz、状況に応じて最も良好な受信結果を得られる通過帯域を選択します。

■ USB / LSB TIME SET ボタン ⑬



SSB受信時に、このボタンを短押しすることで、USB(Upper)とLSB(Lower)を交互に切替えることができます。

時刻設定するには、電源オフ時にこのボタン⑭を2秒長押しします。「時」が点滅表示されるので、ボタン②またはダイヤルを使って時間を設定、再度⑭を押して「分」を設定します。最後に⑭を押して時刻設定を確定します。

■ FINE TUNE ALARM ボタン ⑭

SSB受信時により良好な受信結果を得るために、受信周波数を10Hzステップで動かすことができる機能を実現します。SSB受信時に、このボタンを短押しすることでFINE TUNEとなり、FINE表示がLCDに現れます。この時ボタンのインジケータ(赤)が点灯、チューニングダイヤルを使って受信周波数を10Hzステップで精細にスライドすることができます。このボタンを再度、短押しすることでFINE TUNEではなくなります。

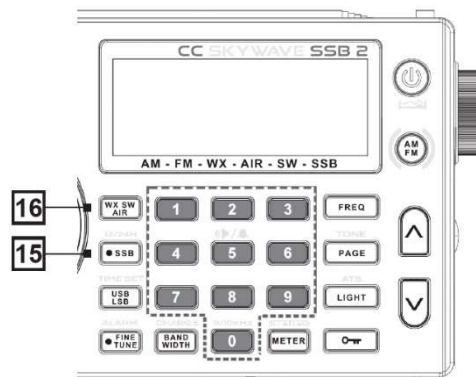
ALARM(アラーム)の設定は、電源オフ時にこのボタンを3秒長押しします。チューニングボタン②またはダイヤルを使ってアラーム時間を設定、⑬を短押しすると分を設定し、再度⑬を押すことで設定時刻を確認します。アラーム設定されるとALARM表示がLCDに現れます。アラーム時刻になるとピープ音(初期設定)で知らせま

す。ピープ音の代わりに受信をされる場合には、アラーム設定中に[5](スピーカーマーク)ボタンを押すことでアラーム受信(スタンバイ受信)に切り替わります。アラーム受信が設定されるとLCDにはスピーカーマークが表示されます。

アラーム受信をする場合には、予め希望する受信周波数、受信音量などを適切に設定しておいてください。アラームを停止するときは、電源ボタン①を押します。他のボタンを押すとさらに10分後に再度、ピープ音(またはアラーム受信)が鳴ります。

アラーム機能を停止するときは、電源オフの状態でのこのボタン⑭を押して、LCD上のALARM表示を消灯させます。

■ SSB 12/24H ボタン ⑮



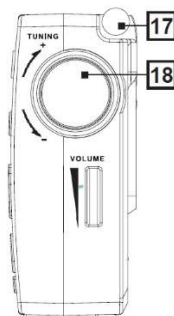
受信バンドがAM、またはSWの時に、このボタン⑮を押すとSSB受信に切り替わる準備が始まり、数秒後にこのボタンのインジケータ(赤)が点灯してSSB受信となります。SSB受信をやめるには、再度このボタンを押します。

電源オフ時に、このボタン⑮を2秒長押しすることで、時計が12時間表示、24時間表示が交互に切り替わります。

■ WX SW AIR ボタン ⑯

電源オンの状態でこのボタン⑯を押す毎に、受信モードがSW → AIR → WX → SWと循環して切り替わります。

■ FM WX AIR SW アンテナ ⑰



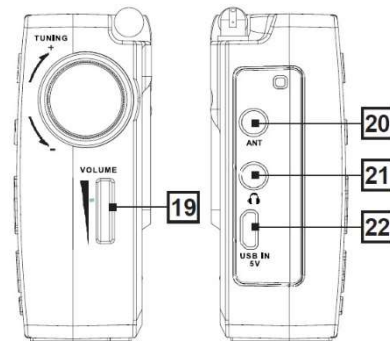
伸縮式アンテナは垂直に伸ばしきって使うと最良となることが多いです。ご使用環境に応じて調節してください。

■ チューニングダイヤル ⑱

受信周波数を変更するときに使います。ダイヤルを押し込むとチューニングステップがFASTとSLOWの間で交互に切り替わります。

受信バンドがAIRのとき、ダイヤルを2秒間押し込むとスケルチモードに切り替わり、そのままOFF~9まで10段階のスケルチ設定ができます。もう一度押し込むとスケルチ設定は保持されて受信がされます。

■ ボリューム調節 ⑲



⑲を上に戻すと音量が大きく、下に回すと小さくなります。特にイヤホンやヘッドホンを使われるときには、適切な音量調節にご注意ください。⑲は3.5mmステレオタイプのイヤホンジャックです。

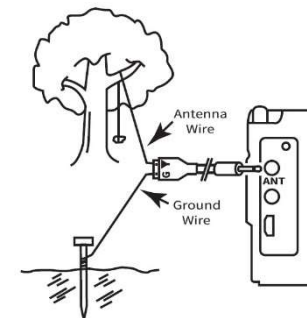
■ USB Charging ジャック ㉒

外部電源(付属でない)接続ジャックです。

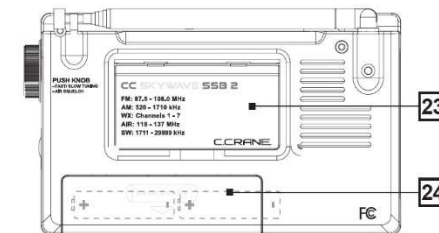
■ 外部アンテナジャック ㉓

3.5mm径モノラルジャックの外部アンテナ端子です。付属アダプタや変換ケーブル(35BNC-2)などを介して外部アンテナを接続できます。(AM時に

は㉓は接続されていません) 図はワイヤーを使った外部アンテナのイメージ例です。



■ 背面スタンド ㉔ 電池収納部 ㉕



㉔はフリップ式の背面スタンドです。デスクトップで使う場合などに適しています。㉕は単3型乾電池の収納部です。マンガン乾電池、ニッケル水素電池も使うことができます。リチウム電池は使用できません。

■ リセットスイッチ ㉖

㉖は制御マイコンのリセットスイッチの孔です。ソフトリセットに使いますが、その際にはラジオ内部を痛めないように注意してください。

■ オールリセット

電源オフ時に[4]と[6]を同時に5秒長押しで、工場出荷時の設定、メモリー内容に戻ります。

■ 受信時の時計表示・周波数表示切替え

パワーオフ時に、[4]ボタンを2秒長押しすると受信時の時計表示(C表示)と周波数表示(F表示)が交互に切り替わります。